



「戦時」には
「身体」の演劇が
「人間」の不・死に
無／意味をあたえる

Dream Regime Project 2007

劇団解体社公演 Reflection 連鎖系

2007.1.25[Thu] 26 [Fri] 27 [Sat] 20:00 「シャーマン」 Shaman

Silvia Moura (Brazil)+Valeria Pinheiro (Brazil)+Gekidan KAITAISHA

2007.2.15[Thu] 16 [Fri] 17 [Sat] 20:00 「剥製」態 Bodies of "Taxidermy"

Elena Polzer (Germany)+Marlene Joebstl (France)+Gekidan KAITAISHA

2007.3.8[Thu] 9 [Fri] 10 [Sat] 20:00 「要塞」にて At a "Fortress"

Rebecca Woodford-Smith (Wales, UK)+Mikyoungh Jun Pearce (Korea/UK)+Gekidan KAITAISHA

@ Free Space CANVAS, Tokyo Ticket: ¥2000



THE SAISON FOUNDATION

wales arts international
ceifyddydau rhyngwladol cymru

TPAN

東京芸術見本市 2007 参加公演

Photo by HINO Hiruko @Salvador, Brazil

Reflection 連鎖系

「戦時」には「身体演劇」が「人間」の不・死に無意味をあたえる

「Dream Regime Project」は、諸外国のパフォーマーとの共同作業を通して、「夢の体制」(=グローバル化)下における「越境」の可能性を探究するために〈旅〉をつづけてきた。

いま、私たちの「越境」は、グローバルズムに抗いながら、なによりもまず「外部的なるもの」を迎え入れることが可能になるような「劇現場」を創り出すことに——あるいは諸身体が、すなわちこの忌避され遺棄されようとしている「幻影」たちが、現に存在していることの意味を、「人間」にむけて語り続けていくことに他ならない。ともにこの〈旅〉を巡るものたちは——自らの帰属している演劇文化の構造と「歴史」が、信仰とそれが生み出してきた言葉が——「越境」の文脈のなかで新たな訊問に付される様子を体験することになるだろう。



構成・演出 / Artistic Director :
清水信臣 / SHIMIZU Shinjin

出演 / Performers :
熊本賢治郎 / KUMAMOTO Kenjiro
日野屋子 / HINO Hiruko
中嶋みゆき / NAKAJIMA Miyuki
青田玲子 / AOTA Reiko
雨宮士郎 / AMEMIYA Shiro
安生玲子 / ANJO Reiko

菅田宇一郎 / FUEDA Uichiro

ゲストパフォーマー / Guest Performers :
Silvia Moura (Brazil)
Valeria Pinheiro (Brazil)
Elena Polzer (Germany)
Marlene Joebstl (France)
Mikyoun Jun Pearce (Korea/UK)
Rebecca Woodford-Smith (Wales, UK)

Photo by IIDA Koji ©Archa Theatre, Prague

2007.1.25 [Thu] 26 [Fri] 27 [Sat] 20:00

「シャーマン」 Shaman

[出演] Silvia Moura (Brazil)+Valeria Pinheiro (Brazil)

+ Gekidan KAITAISHA

2007.2.15 [Thu] 16 [Fri] 17 [Sat] 20:00

「剥製」態 Bodies of "Taxidermy"

[出演] Elena Polzer (Germany)+Marlene Joebstl (France)

+ Gekidan KAITAISHA

2007.3.8 [Thu] 9 [Fri] 10 [Sat] 20:00

「要塞」にて At a "Fortress"

[出演] Rebecca Woodford-Smith (Wales, UK)+Mikyoun Jun Pearce (Korea/UK)

+ Gekidan KAITAISHA



Silvia Moura (Brazil)

70年代後半よりクラシック、ジャズ、コンテンポラリーなど幅広くダンスを学ぶ。2002年には前衛パフォーマンスカンパニー「CEM」(Center of Experimentations in Movements)を旗揚げし、刑務所でのワークショップを経て制作された作品など、多くの実験的・政治的パフォーマンスを発表し続けている。



Valeria Pinheiro (Brazil)

ブラジルを代表するタップ・ダンサー、振付家。地元ブラジル北部の伝統音楽とタップダンスとの融合は国内外で高い評価を受け、2000年のハノーヴァー万博で長期公演を行うなど世界各地で活動を展開。近年の作品では、アフリカの土着宗教とカトリックとが融合し独特の発展をとげたブラジルの民間信仰「カンドンブレ」やシャーマニズムなどを取り入れ、より「身体的」なパフォーマンスへと発展している。



Elena Polzer (Germany)

ブロードウェイ女優、演出家の母の下、小さい頃からダンスを学ぶ。90年代に留学したのを機に日本文化に興味を持ち、ベルリン・フンボルト大学日本学科を土着研究で修了。現在、ベルリンを拠点に若手ダンサーの活動をマネージメントするなど、舞台制作者としても活躍中。



Marlene Joebstl (France)

パリに生まれ、フランス、オーストリア、英国などで歴史学、演劇、クラウ人具を学ぶ。現在は活動するパフォーマー。アーティスト仲間や失業者たちなどと共に運営しているパリのスクワット・スペースなど、アンダーグラウンド・シーンでインプロビゼーション・ダンスやストリート・パフォーマンスなどを展開。



Mikyoun Jun Pearce (Korea/UK)

韓国南部・麻山生まれ。慶北大学卒業後英国に渡り、映像・写真美術を学ぶ。1999年頃よりプリストルをベースにビデオ・インスタレーション・アーティストとして活動を開始。代表作に従軍慰安婦問題と祖母の個人史をテーマとした「Yamato Nadeshiko」など。西イングランド大学現代美術科を修了後、現在韓国在住。



Rebecca Woodford-Smith (Wales, UK)

ウェールズ生まれのドイツ系英国人。クラシック及びコンテンポラリーダンスを学んだ後、プリストル大学パフォーマンス科を卒業。現在はウェールズ西部の街 Aberystwyth を拠点に、パフォーマー/劇作家として活動を展開。

STAFF

照明 / LX : 河合直樹 ((有) アンビル) / KAWAI Naoki 音楽・音響 / Sound : 落合敏行 / OCHIAI Toshiyuki

演出助手・映像・通訳 / Assistant Director, Video and Interpreter : 新井知行 / ARAI Tomoyuki

助成 / Supported by : 芸術文化振興基金 財団法人セゾン文化財団 Wales Arts International

会場 : Free Space CANVAS

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-4-8 五十嵐マンション B1F

Igarashi Mansion B1F, 2-4-8 Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0034, Japan

Ticket : ¥2000 (日時指定・予約制) ※客席数が限られております。ご予約はお早めに。

ご予約/お問い合わせ : 劇団解体社 Phone/Fax: 03-5802-5387

gekidan@kaitaisha.com www.kaitaisha.com

○劇団員募集 (パフォーマー/役者/ダンサー/制作スタッフ)

経歴・応募動機 (400字程度) を件名「解体社劇団員応募 2007」として e-mail でお送り下さい。折り返し面接日をご連絡致します。

○劇団解体社・今後の活動予定

2007年6月 スペイン公演 2007年秋 ヨーロッパ・ツアー (ロンドン、ベルリン、ブダペスト、グダニク)

2008年初旬 「Bye-Bye: Reflection」東京公演

